

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、かなり高め～甚だ高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の59%（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の21%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり608kgの水揚げで、前週の33%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり64kgの水揚げで、前週の62%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.7トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり57kgの水揚げ。対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり152kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり432kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり259kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の56%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/9～7/13の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、小樽沖に移動。赤イカは北太平洋で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～桧山沖～小樽沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延2隻、総計62箱、1航海最高46箱、平均31箱。ケンサキイカを漁獲、魚体は2～3立半。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>